

CSR推進活動の目標と実績



CSR推進活動の目標と実績

ミネベアミツミグループでは、CSRの取り組みを進める上で、PDCA*のサイクルを適切に回してマネジメントしていくこ

とが重要であると考え、CSR目標を定め取り組んでいます。

*Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことによって、管理業務を継続的に改善していく手法

2018年度実績と2019年度および中期目標

	2018年度目標	2018年度実績	評価	2019年度目標	中期目標(2020年度めど)	
マネジメント	CSRマネジメント	ミツミ電機の海外拠点でCSR担当者を設置し、CSR浸透活動を実施 CSR ミネベアミツミグループとしてのマテリアリティを特定 CSR	ミツミ電機の海外拠点にCSR担当者を設置し、重要課題に関するアンケートを実施 ミネベアミツミグループとしてのマテリアリティを特定	○ ○	● グループでのCSRマネジメントの強化 CSR ● ステークホルダーの期待・要請理解を通じたマテリアリティをベースとした、取り組みの推進 CSR	● ステークホルダーの期待・要請理解を通じたマテリアリティをベースとした、CSRマネジメントの推進 CSR
	コーポレートガバナンス コンプライアンス リスクマネジメント	フィリピンでの体制構築および研修によるコンプライアンスの浸透促進 コンプライアンス	● フィリピンでコンプライアンスオフィサー・正担当者・副担当者を任命 ● e-ラーニング研修と理解度テストの実施	○	● 階層別研修におけるコンプライアンス研修の実施 コンプライアンス ● グループ全体でのコンプライアンス意識調査 コンプライアンス ● 内部通報における第三者認証登録制度の取得 コンプライアンス ● タイ・ロジャナ工場およびナワナコン工場のISO 22301の取得 総務 ● ミツミ電機フィリピン・セブ工場のBCP拡充 総務 ● 非常時の通信手段である「衛星電話」を国内主要工場に配備 総務	● ミネベアミツミグループとしてのグローバルコンプライアンス体制の構築・強化 コンプライアンス ● 世界主要拠点でのBCPの定着 総務
		コンプライアンスに関するe-ラーニング研修の実施 コンプライアンス	ミツミ電機出身の全従業員を対象に、コンプライアンスに関する解説と理解度テストを含むe-ラーニング研修を実施	○		
		ミツミ電機の主要生産拠点でのBCP策定推進 総務	ミツミ電機の千歳工場で行動計画、フィリピン・セブ工場で基本計画を確認	○		
		タイのロップリ工場、BCP行動計画を策定 総務	タイ・ロップリ工場、BCP行動計画を策定	○		
国内事業所、タイなどにおけるBCP訓練の推進 総務	● 軽井沢工場で年3回のBCP訓練を実施 ● タイで洪水対策のシミュレーション訓練を実施	○				
お客様とのかかわり	フタル酸エステルのフリー化の推進 品質	グリーン調達管理要領の付属書にフタル酸エステルの使用禁止を明記し、説明会を開催	○	● 新規事業に対する品質マネジメントシステム活動の支援 品質 ● 製品品質の向上を目指したボトムアップと管理 品質 ● ミツミ製品への統一バーコードラベルの導入 物流 ● RFIDタグ試験運用のスタート 物流 ● AEO認定の取得および継続活動の推進 物流 ● ロボットによる省人パイロットモデル倉庫の構築開始 物流	● ミネベアミツミグループとしての新体制における品質マネジメントシステムの構築 品質 ● ロボットによる省人パイロットモデル倉庫の構築開始 物流 ● AIによる画像認識技術を応用した精度の高い出庫工程の構築 物流	
	サプライチェーンの品質マネジメントのためのサプライヤー・マニュアルの展開 品質	サプライヤー品質保証マニュアルを策定	○			
	ISO 9001:2015認証への移行の継続支援 品質	すべての事業所でISO 9001:2015認証への移行を完了	○			
	ミツミ製品への統一バーコードラベルの導入 物流	ミツミ製品担当の事業部へ趣旨説明を実施	○			
	RFIDタグ試験のスタート 物流	タイ発香港向け海上輸送において実証実験を実施	○			
	AEO認定の取得および継続活動の推進 物流	マレーシアでのAEO認定の取得を推進	○			
社会	人権尊重に対する教育の継続的強化 人材開発	階層別研修でのハラスメント教育や人権尊重に関する教育を実施	○	● 人権尊重に対する教育の継続的強化 人材開発 ● ミネベアミツミグループとしての次世代リーダー育成の強化 人材開発 ● 女性活躍の継続的推進 人材開発 ● 障がい者雇用の法定雇用率達成と雇用維持 人事 ● 残業時間の継続的削減 人事	● ミネベアミツミグループとしての統合効果を生かし、グローバルでの事業の拡大、発展を積極的に推進するための人材開発強化 人材開発 ● 女性管理職の割合の増加(2021年に2016年の2倍を目標とする) 人事 ● 社会的要請を積極的にくみ取りつつ、従業員が生き生きと働くための施策推進 人事	
	ミネベアミツミグループとしての次世代リーダー育成の強化 人材開発	経営・技術などに特化した次世代リーダー研修の実施	○			
	女性活躍の継続的推進 人材開発	女性活躍のための継続的な環境づくり	△			
	障がい者雇用の法定雇用率達成と雇用維持 人事	障がい者雇用率1.61%(2018年6月時点)	×			
	残業時間の継続的削減 人事	各部署への継続的な注意喚起、勤怠管理システムの強化を実施	○			
お取引先様とのかかわり	ミツミ電機の国内主要お取引先様に対して、「CSR調達推進自己チェックシート」によるCSR推進状況の確認 資材	ミツミ電機の国内主要お取引先様へCSR推進状況確認のための「CSR調達推進自己チェックシート」を配布し630社から回答受領	○	● ミツミ電機の中国におけるお取引先様に対して、「CSR調達推進自己チェックシート」によるCSR推進状況の確認 資材	● ミツミ電機のアジアでのお取引先様に対して、「CSR調達ガイドライン」によるCSR推進状況確認を推進 資材	
地域社会・国際社会とのかかわり	国内外の拠点における地域との対話促進を継続 CSR	● 軽井沢工場、米子工場において継続的に地域との対話を実施 ● タイやフィリピンなどの海外拠点で、取り組み推進のために地域の方との対話を実施	○	● 国内外の拠点における地域との対話促進を継続 CSR	● 国内外でのCSR浸透活動の継続的実施 CSR	
株主の皆様とのかかわり	事業計画の進捗および施策に関する積極的な情報開示の継続的推進 IR	株主総会、年2回の報告書送付、ウェブサイトなどを通じ、中期事業計画および施策の情報開示を推進	○	● 事業計画の進捗および施策に関する積極的な情報開示の継続的推進 IR ● 国内外の投資家との積極的なコミュニケーションの継続的推進 IR	● より多くの株主・投資家の皆様にミネベアミツミへの理解を深めていただけるよう、積極的な情報開示とコミュニケーションの継続 IR	
	国内外の投資家との積極的なコミュニケーションの継続的推進 IR	年4回の機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会および決算説明電話会議、年1回の欧米・アジアでの投資家訪問などを推進	○			
	統合報告書の発行 IR	ミネベアミツミグループ統合報告書を発行し、10社程度の機関投資家と対話を実施	○			
環境	CO ₂ 排出量を生産高原単位で2015年度比で9%削減する 環境	2015年度を基準年として、CO ₂ 排出量原単位で1.5%削減(為替影響を除くと7.1%削減)	△	● CO ₂ 排出量を生産高原単位で2015年度比で12%削減する 環境 ● 廃棄物等排出量を生産高原単位で2015年度比で12%削減する 環境 ● 廃棄物の再資源化率を97.3%とする 環境 ● 用水使用量を生産高原単位で2015年度比で12%削減する 環境 ● 生物多様性保全の推進 環境 ● ミネベアミツミグループの環境配慮製品認定制度の創設 環境 ● 海上コンテナの積載効率向上に向けた梱包改善の推進 物流	● CO ₂ 排出量を生産高原単位で2020年度までに2015年度比で15%削減する 環境 ● 廃棄物等排出量を生産高原単位で2020年度までに2015年度比で15%削減する 環境 ● 廃棄物の再資源化率を97.5%とする 環境 ● 用水使用量を生産高原単位で2020年度までに2015年度比で15%削減する 環境 ● 生物多様性保全の推進 環境	
	廃棄物等排出量を生産高原単位で2015年度比で9%削減する 環境	2015年度を基準年として、廃棄物排出量を生産高原単位で1.0%削減(為替影響を除くと6.6%削減)	△			
	廃棄物の再資源化率を97.3%とする 環境	廃棄物の再資源化率は、98.1%	○			
	用水使用量を生産高原単位で2015年度比で9%削減する 環境	2015年度を基準年として、用水使用量を生産高原単位で6.0%削減(為替影響を除くと11.4%削減)	○			
	生物多様性保全の推進 環境	生態系への悪影響を防ぐための3Rを推進	○			
	海上コンテナの積載効率向上に向けた梱包改善の推進 物流	平積みから段積み積載に変更するなどし、積載率を向上	○			

CSR CSR推進室 **コンプライアンス** コンプライアンス推進室 **総務** 総務部 **品質** 品質保証本部
物流 物流部 **人材開発** 人材開発部 **人事** 人事部 **資材** 資材部 **IR** IR室 **環境** グループ環境管理部

社会性報告書
 特集1
 特集2
 HOT TOPICS
 目次